

鳴門市の学校給食についてのアンケート結果

令和4年3月

鳴門市教育委員会 教育総務課

目次

目的・調査対象・調査期間	2
アンケート結果	
1 給食の時間を楽しみにしていますか	3
2 主食（ごはん・パン）の量について	
A ごはんについて	4
B パンについて	4
3 主食（ごはん・パン）の割合について	5
4 おかずの量について	6
5 おかずの味付けについて	6
6 給食を残さず食べていますか	7
7 給食を残す人は、給食を残す理由は何ですか	8
8 給食時間の長さはどうですか	9
9 給食の献立の中で、どんなおかずが好きですか また、どんなおかずが苦手ですか（各2つまで）	10
10 郷土料理・地元食材について	10/11
11 給食について、何か意見があれば書いてください。	12
おわりに	13

○アンケートの目的

本アンケートは、実際に喫食している児童生徒の考え方や意見、給食献立の嗜好や摂取状況等の実態を把握し、今後の学校給食運営に役立てることを目的として昨年度に引き続き実施したものである。

○調査対象

鳴門市内の小学校5年生（13校396人）

中学校2年生（5校374人）

合計 770 人

○調査期間

令和3年12月20日 ～ 令和4年1月14日

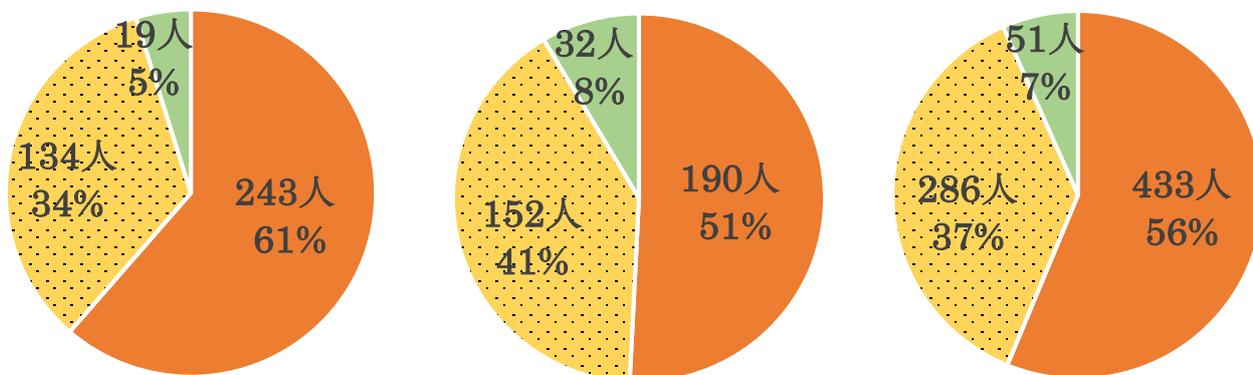
○アンケート結果

1 給食の時間を楽しみにしていますか。

小学5年生

中学2年生

全体

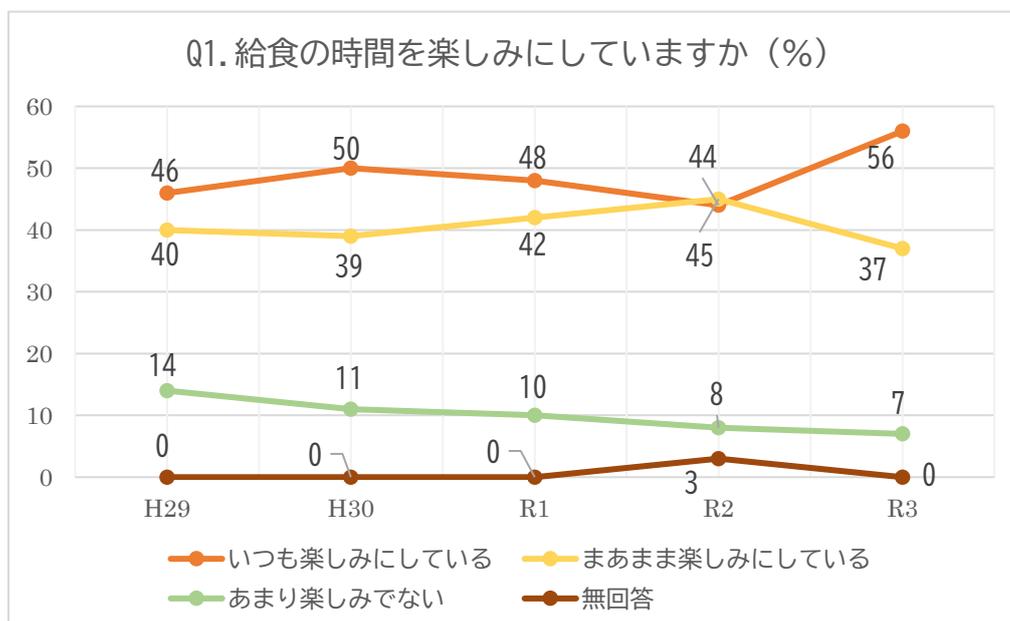


■ いつも楽しみにしている ■ まあまあ楽しみにしている ■ あまり楽しみでない

	小学5年生	中学2年生	全体
いつも楽しみにしている	243人 (61%)	190人 (51%)	433人 (56%)
まあまあ楽しみにしている	134人 (34%)	152人 (41%)	286人 (37%)
あまり楽しみでない	19人 (5%)	32人 (9%)	51人 (7%)
合計	396人	374人	770人

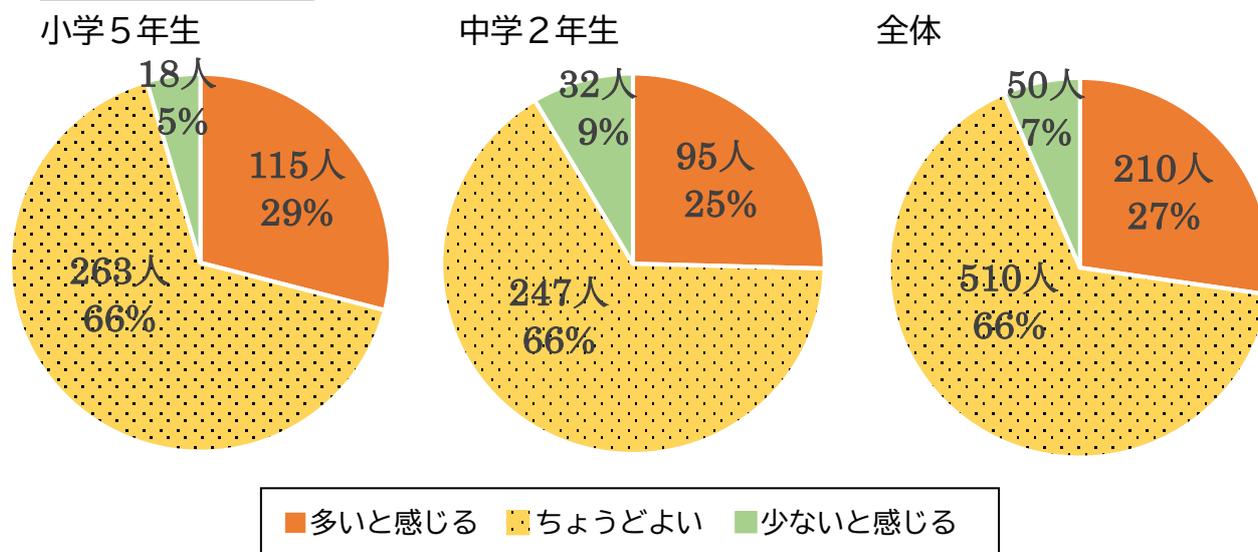
小学生では95%、中学生においては92%が給食を楽しみにしていると回答しており、全体では93%の児童生徒が給食を楽しみにしている。

昨年度のアンケートと比較すると、小学生は89%→95%、中学生は88%→92%と増加した。

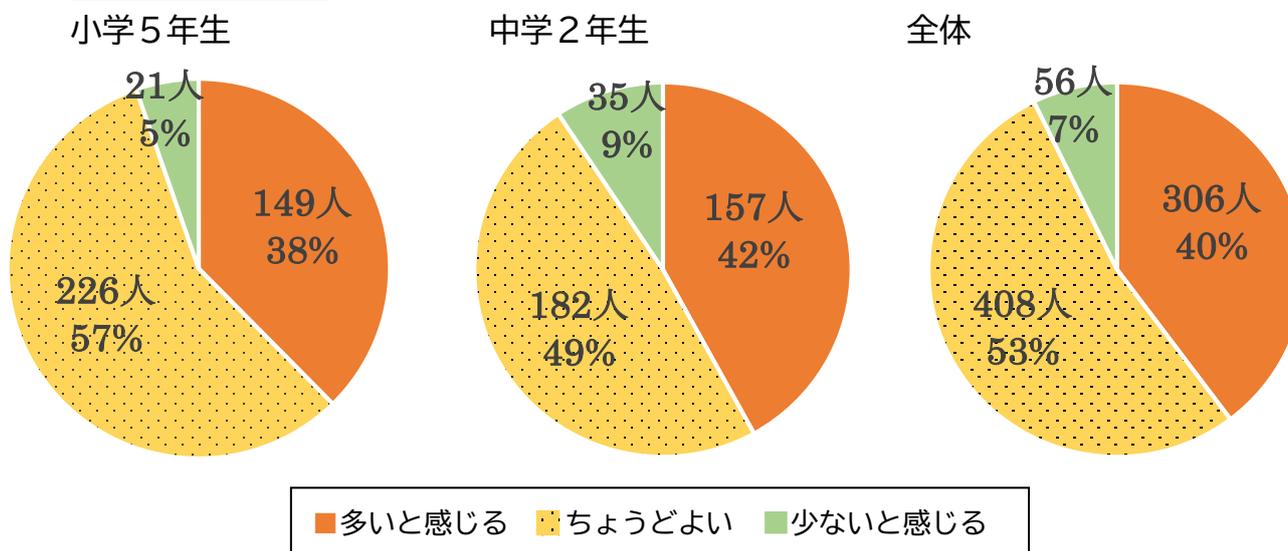


2 主食（ごはん・パン）の量について

A ごはんについて



B パンについて



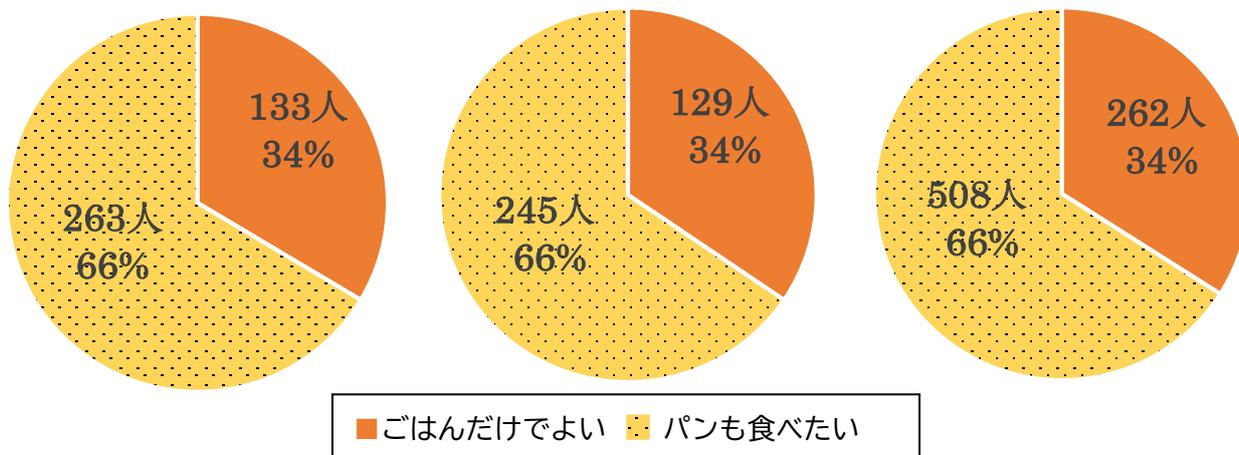
	小学5年生	中学2年生	全体
多いと感じる	149人 (38%)	157人 (42%)	306人 (40%)
ちょうどよい	226人 (57%)	182人 (49%)	408人 (53%)
少ないと感じる	21人 (5%)	35人 (9%)	56人 (7%)
合計	396人	374人	770人

3 主食（ごはん・パン）の割合について。

小学5年生

中学2年生

全体

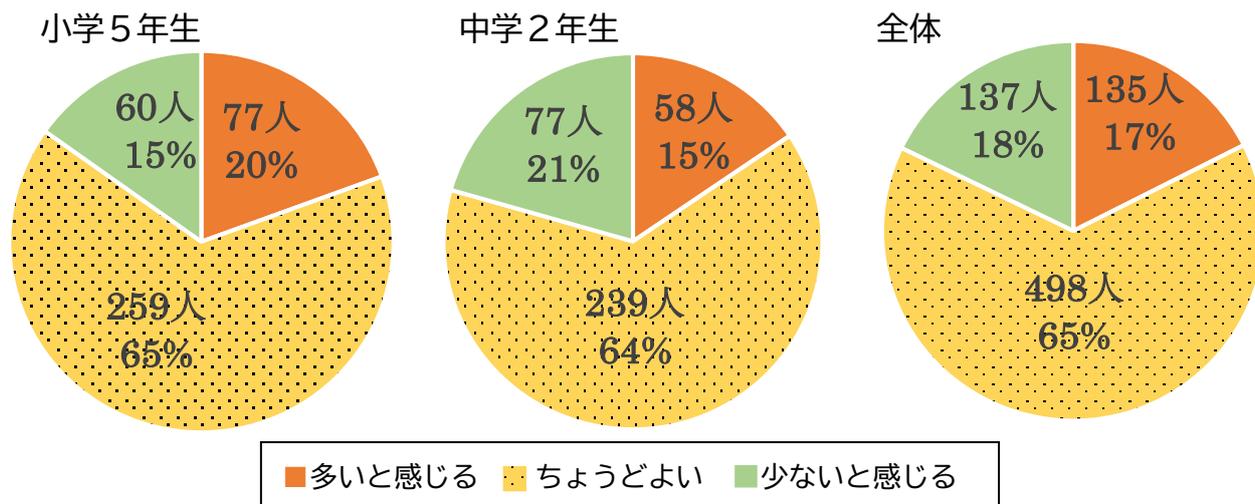


	小学5年生	中学2年生	全体
ごはんだけでよい	133人 (34%)	129人 (34%)	262人 (34%)
パンも食べたい	263人 (66%)	245人 (66%)	508人 (66%)
合計	396人	374人	770人

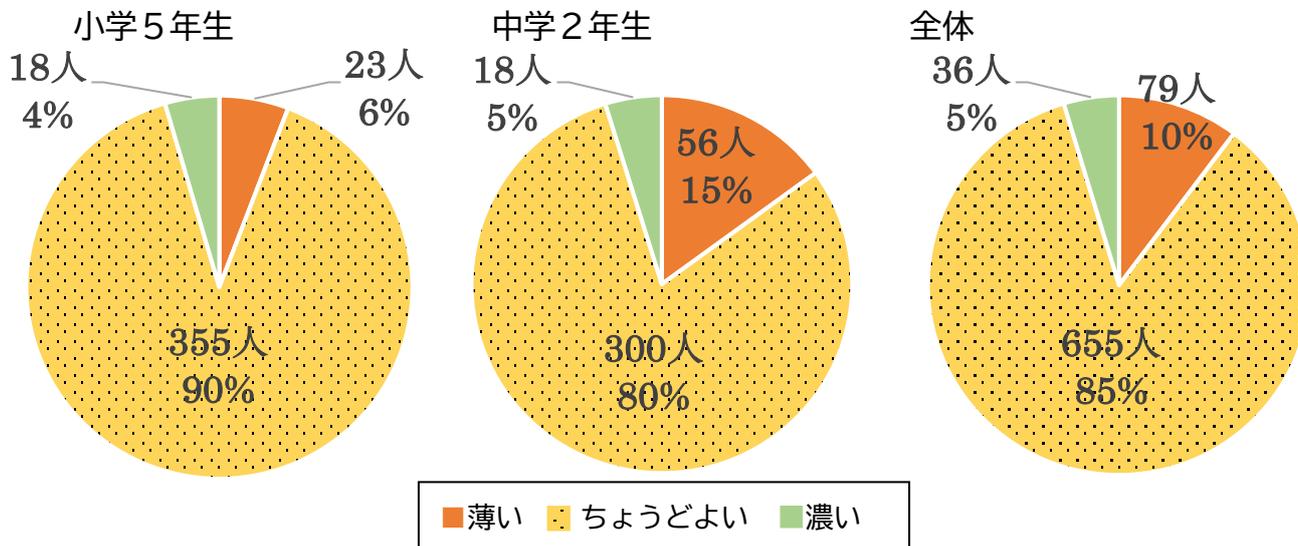
主食については、ごはんの量は全体の66%がちょうどよいと回答し、パンの量では全体の53%がちょうどよいと回答しているが、40%が多いと感じている。

なお、全体の66%がパンも食べたいと希望しており、今後もパンの提供を続けていく必要がある。

4 おかずの量について



5 おかずの味付けについて

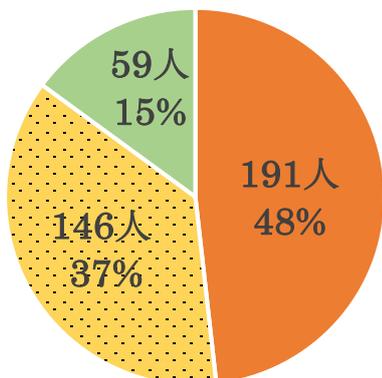


	小学5年生	中学2年生	全体
薄い	23人 (6%)	56人 (15%)	79人 (10%)
ちょうどよい	355人 (90%)	300人 (80%)	655人 (85%)
濃い	18人 (4%)	18人 (5%)	36人 (5%)
合計	396人	374人	770人

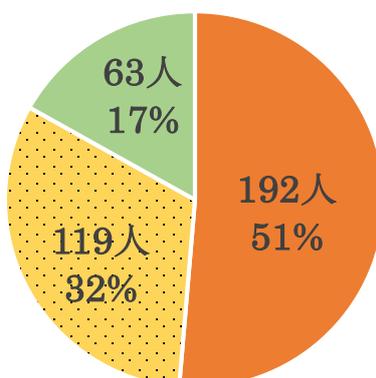
おかずの量については、小学生・中学生ともに約65%がちょうどよいと回答しており、味付けについては、全体の85%がちょうどよいと回答しているが、薄いと答えた人数の割合の方が濃いと答えた人数の割合より多く、全体で見ると約2倍になっていた。

6 給食を残さず食べていますか。

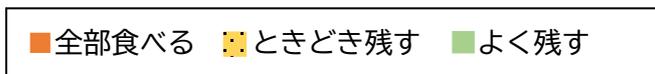
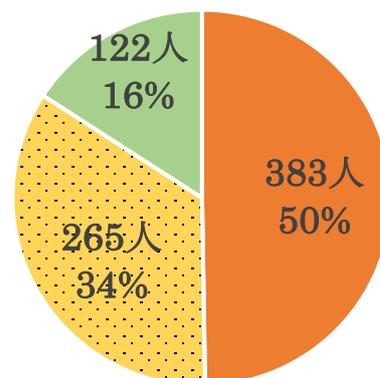
小学5年生



中学2年生

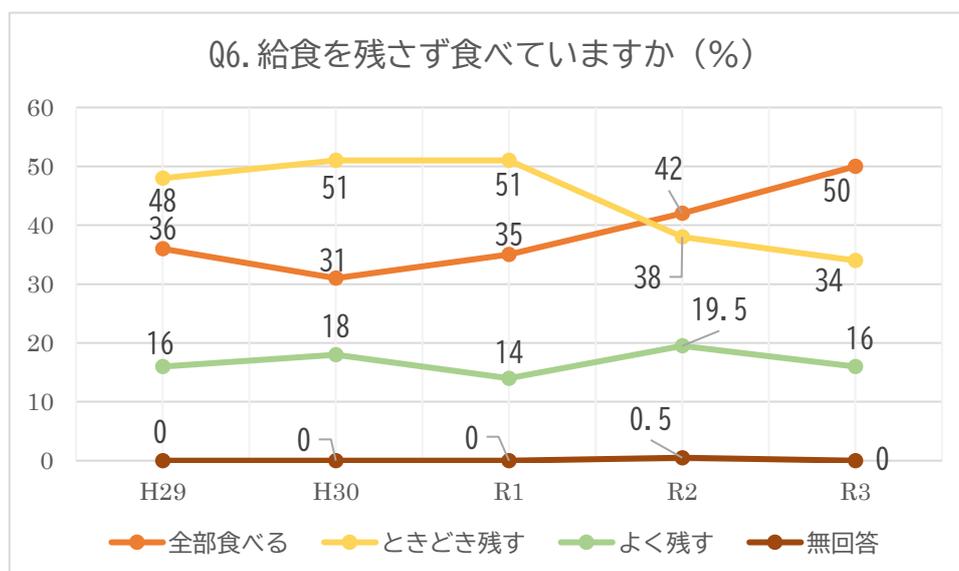


全体



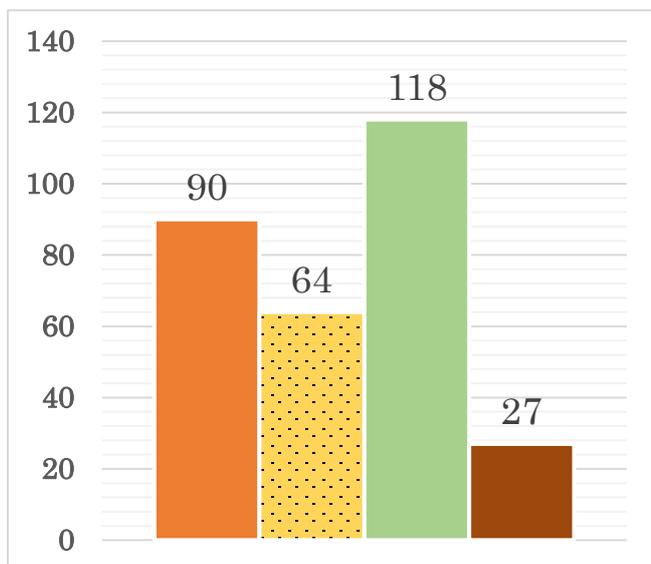
	小学5年生	中学2年生	全体
全部食べる	191人 (48%)	192人 (51%)	383人 (50%)
ときどき残す	146人 (37%)	119人 (32%)	265人 (34%)
よく残す	59人 (15%)	63人 (17%)	122人 (16%)
合計	396人	374人	770人

全体で84%が「全部食べる」か「ときどき残す」との回答であった。
 前回の回答と比較すると、全体で「よく残す」と回答した人数の割合が減少し、「全部食べる」と回答した人数の割合が増加した。

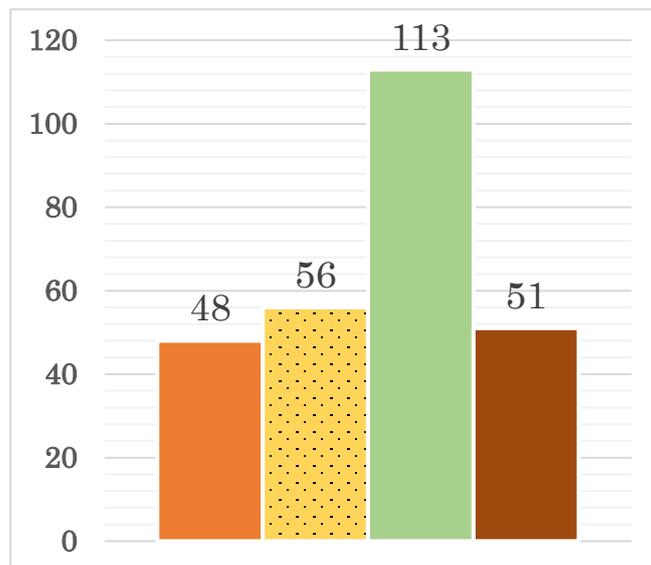


7 給食を残す理由は何ですか。(複数回答)

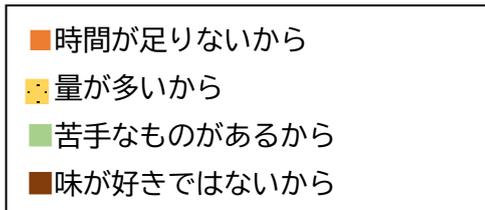
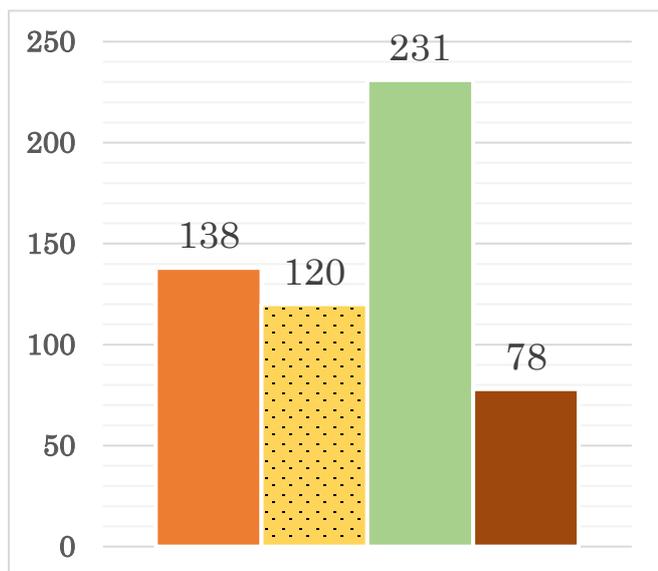
小学5年生



中学2年生



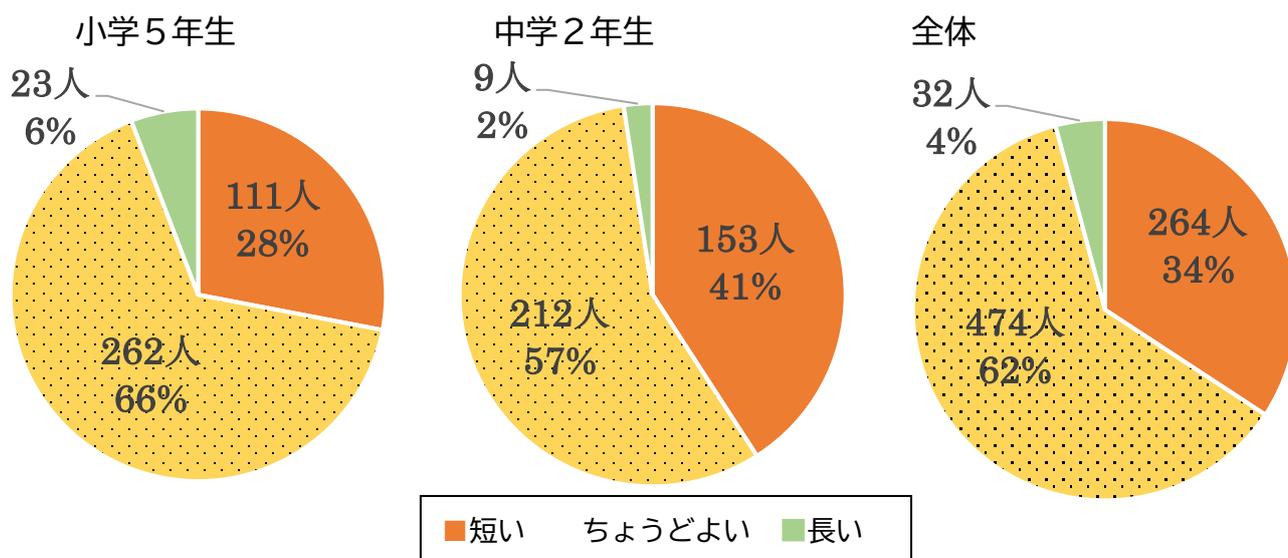
全体



	小学5年生	中学2年生	全体
時間が足りないから	90人 (30%)	48人 (18%)	138人 (24%)
量が多いから	64人 (21%)	56人 (21%)	120人 (21%)
苦手なものがあるから	118人 (39%)	113人 (42%)	231人 (41%)
味が好きではないから	27人 (9%)	51人 (19%)	78人 (14%)

給食を残す理由は、小学生・中学生ともに「苦手なものがあるから」という理由が一番多かった。

8 給食を食べる時間の長さはどうですか。



	小学5年生	中学2年生	全体
短い	111人 (28%)	153人 (41%)	264人 (34%)
ちょうどよい	262人 (66%)	212人 (57%)	474人 (62%)
長い	23人 (6%)	9人 (2%)	32人 (4%)
合計	396人	374人	770人

給食時間の長さは、全体で62%がちょうどよいと回答している。

前回の結果と比較するとちょうどよいと回答した割合は57%→62%と増加し、短いと回答した割合は39%→34%と減少した。

コロナ禍における、黙食により食べる事に集中する時間が増えたためかと推察。

- 9 給食の献立の中で、どんなおかずが好きですか。
また、どんなおかずが苦手ですか。

		小学5年生		中学2年生	
好き	1位	カレーライス	116	カレーライス	50
	2位	鶏そばろ	70	フルーツポンチ	33
	3位	フルーツポンチ	34	鶏そばろ	30
苦手	1位	魚	29	チリコンカン	16
	2位	チリコンカン	26	トマト(ミニトマト)	15
	3位	トマト(ミニトマト)	22	ひじきの煮物	10

小学生・中学生ともに、それぞれの順位は異なるが、好きな献立は同じものが挙げられており、その中でも1位はカレーライスであった。

苦手な献立は、チリコンカンやトマトが挙げられていた。

好きな献立、苦手な献立について、過去の回答と比較すると、毎年大きな変化がない状況となっている。

- 10 給食では、徳島県の郷土料理や徳島県や鳴門市の地場産物を献立に取り入れています。知っている郷土料理や地元食材を全て書き出してください。

・郷土料理

正答数	小学5年生	中学2年生
0個	315人(79.5%)	223人(59.6%)
1個	79人(20.0%)	124人(33.2%)
2個	2人(0.5%)	24人(6.4%)
3個		3人(0.8%)
合計	396人	374人

※正答数0には、知らないと回答した人・徳島の郷土料理以外を回答した人が含まれます。

- ・郷土料理として回答された料理
そば米雑炊・ならえ・でこまわし

- ・郷土料理以外で回答された料理
徳島ラーメン・鳴門カレー・フィッシュカツ

徳島の郷土料理について、小学生では79.5%、中学生では約59.6%が「知らない」または郷土料理以外を回答していた。

昨年度のアンケートと比較すると、小学生は85%→79.5%と知らないと答えた人数の割合は減少し、中学生は57.9%→59.6%と若干増加した。

昨年の回答に引き続き、郷土料理とご当地グルメを混同解釈している状況に加え、知らないと答えた中には、そもそも郷土料理が何かを知らないといった意見があった。

・地元食材

正答数	小学5年生	中学2年生
0個	43人(10.9%)	62人(16.6%)
1個	71人(17.9%)	59人(15.8%)
2個	87人(22.0%)	75人(20.0%)
3個	75人(18.9%)	79人(21.1%)
4個	73人(18.4%)	49人(13.1%)
5個	24人(6.1%)	27人(7.2%)
6個	14人(3.5%)	11人(2.9%)
7個	4人(1.0%)	6人(1.6%)
8個	3人(0.8%)	3人(0.8%)
9個	2人(0.5%)	1人(0.3%)
10個		
11個		1人(0.3%)
12個		1人(0.3%)
合計	396人	374人

※正答数0には、知らないと回答した人・地元食材以外を回答した人が含まれます。

- ・徳島県、鳴門市の地元食材として回答された食材
れんこん・さつまいも・わかめ・大根・らっきょう・すだち・にんじん・鯛
鰯・塩・もも・かき・ゆず 等

地元食材について、昨年度のアンケートと比較すると、正答数が0の割合が小学生では15%→10.9%となり減少しました。それに対し、中学生では13%→16.6%と若干増加した。
郷土料理と比べると、地元食材を知っている割合は多くなっている。

参考資料



各地域で季節ごとにとれる産物をうまく利用して、その土地の風土にあった調理法で作られた料理のことを「郷土料理」と呼んでいる。
郷土料理は、歴史や文化、あるいは食生活とともに受け継がれていて、毎日の生活の中で食べられる料理と、お正月やお盆、結婚式など特別な日に食べられる料理がある。

1 1 自由意見

・小学5年生

- ・パンの日を増やしてほしい。
- ・デザートを増やしてほしい。
- ・他の県の料理も食べてみたいです。
- ・給食を食べると5、6時間目も頑張ろうって思えます。
- ・少し量が多いので、減らしてほしい。

など

・中学2年生

- ・野菜類がたくさん残るので量を減らしてほしい。
- ・牛乳よりお茶にしてほしい。
- ・量が多くて、残してしまいましたが美味しいです。
- ・パンの時は味付きパンかジャムを付けてほしい。
- ・おかずのレパートリーを増やしてほしい。

など

◆ おわりに

本アンケートは、平成29年の鳴門市学校給食センター稼働後より毎年実施しており、5回目の実施となりました。

児童生徒の学校給食に対する考え等を広く把握できるよう、質問内容を作成し、例年同様の質問項目については比較することができた。

なお、昨年度よりアンケートの項目に追加した「郷土料理」や「地元食材」に関する理解度や認知については、昨年の結果と比較して大きな変化は見られなかった。また、「郷土料理そのものが何かわからない」という意見も見られたことから、引き続き、地域の食文化を伝える取り組みが必要となっている。

アンケートを通じて得られた児童生徒の率直な意見や感想を参考とし、今後の給食運営に役立てていくとともに、今後も定期的にアンケート調査を実施することで、児童生徒の考え方や意見、給食献立の嗜好や摂取状況等の実態を把握し、より安全・安心でおいしい給食が提供できるように努めていきたい。